農総研だより
第78号 令和8年10月発行
公益財団法人東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター

IT を活用して学校給食受発注業務を効率化

三鷹市では、小中学校において自校式給食を実施しています。市内産農産物の利用拡大に向け、JA 東京むさし三鷹支店（以下、JA 三鷹）が学校と生産者の仲介役となり、２２校分の発注書を取りまとめ、生産者への発注や、学校へ農産物の納品を行っています。農総研では、東京型スマート農業研究開発プラットフォームへの提案を受け、三鷹市、JA 三鷹、北多摩農業改良普及センターと連携し、学校給食の受発注業務への IT 技術活用による効率化をオープンラボで検証しました。

1. 発注書のデータ化と定型業務の自動化

学校の栄養士から JA 三鷹に FAX で送付されていた発注書を、データファイルのメール送受信に変更しデータ共有しました。さらに、２２校分の発注書の統合や、生産者への発注、学校向け出荷確定書類の作成などの定型業務を、ソフトウェアロボット技術である RPA（Robotic Process Automation）により自動化しました（図１）。

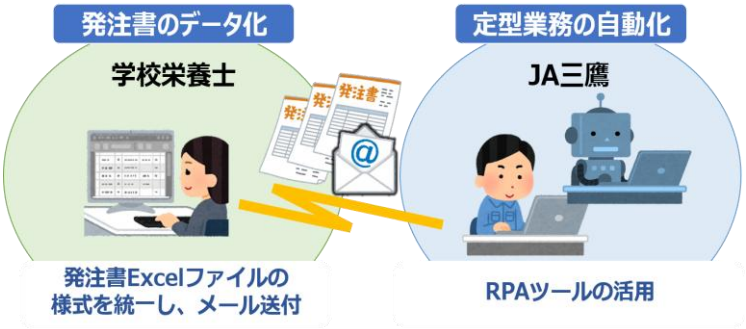


図 1　発注書のデータ化と定型業務の自動化

その結果、作業時間を従来の 3 分の 1 に削減できました。

2. 受発注実績データの分析と関係者への共有

過去３～５年分の発注実績データを分析し、学校給食向け市内産農産物の納品傾向をグラフ化して JA、生産者、普及員と共有しました（図 2）。その結果、生産者と普及員の情報共有促進や、生産計画の検討に役立つとの意見が得られました。

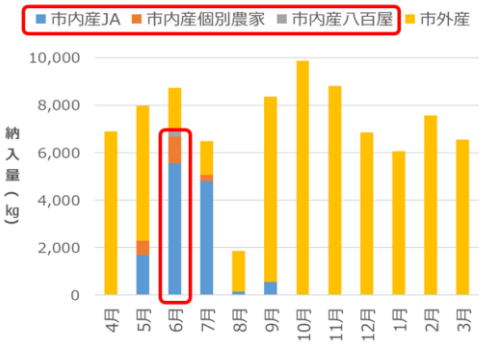


図 2　R6 年タマネギの産地別納入量

右の QR コードから本システムに関する研究報告にアクセスできますので、ぜひご覧ください。

（スマート農業推進室）

オープンラボによる
東京型スマート農業の実装

森林・林業研究発表会の開催

森林・林業の関係者並びに都民に向けて、森林研究チームの研究成果の周知や普及を目的とした「森林・林業研究発表会」を７月１日に開催しました。

今年は、森林におけるシカ被害対策として「環境にやさしいシカ柵の開発」と、神社仏閣などの大きな柱となる材木の生産を目標とした森林施業として「'100 年の森'で実施した、樹木の成長に有効な林業技術」の２題を発表しました。

当日は、森林所有者など多くの方にご参加いただきました。また、質疑応答ではシカ柵の種類による材質の特徴の違いなどについて活発な意見交換があり、盛況な発表会になりました。

（緑化森林科・森林研究チーム）



開発したシカ柵により侵入できないシカ



会場の様子

ブバルディア第３期品種の育成　～一般販売が始まりました～

ブバルディアは伊豆大島の農業生産額の１位を占める、特産の切り花です。農総研では東京都島しょ農林水産総合センターや生産者団体と連携し、オリジナル品種の開発によるブバルディアの生産振興に取り組んでいます。これまで、第１期として一重咲きの「東京スター」シリーズ３品種、第２期として八重咲きの「東京ダブルスター」シリーズ３品種を育成し、大島町で生産されています。また、第３期として 2023 年に育成した緑とピンクのグラデーションが特徴の「東京スター　オーロラ」とピンクの八重咲が特徴の「東京ダブルスター　フラミンゴ」は、３年間の試験栽培を経て今年度より一般販売が始まりました。



東京スター　オーロラ　　東京ダブルスター　フラミンゴ

図１：第３期品種の開花例

（園芸技術科・バイテク研究チーム）

種苗改善審査会「ハボタンの部」を開催しました

ハボタンは冬季の花壇や寄せ植えを彩る代表的な花壇苗であり、葉形や草姿が多様であることから幅広く利用されています。令和７年 11 月 20 日、農総研において第 67 回東京都種苗改善審査会「ハボタンの部」が開催されました。審査会では全 13 品種が出品され、審査の結果、１位に「ブライト＆アーリー ホワイト」（FS ブルーム）、２位に「ブライト＆アーリー レッド」（FS ブルーム）、３位に「恋姿」（タキイ種苗）が選ばれました（図１）。入賞品種は葉色の発色や草姿のまとまり、揃いに優れていました。特に１位品種は鮮明な白色と安定した品質が高く評価されました。また、わい性品種では葉の黄化が少なく株のまとまりが良好な系統、高性種ではコンパクトな株張りを示す系統が有望と評価されました。　　（園芸技術科・花き研究チーム）



ブライト＆アーリー ホワイト



ブライト＆アーリー レッド



恋姿

図１　有望品種の外観

カキ新品種「つきまる」が品種登録されました

（国研）農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門（以下、農研機構）で育成されたカキ「つきまる」が 2025 年６月に品種登録されました。農総研では、「つきまる」の都内における収穫期や果実品質等を調査しました。収穫期は 10 月中旬～11 月上旬ごろに、従来品種の「富有」よりも２週間程度早く収穫できました。果実重は 304ｇと、「松本早生富有」や「富有」と比較して大果です。糖度は「松本早生富有」や「富有」並みで、果肉硬度は「松本早生富有」や「富有」よりやや軟らかく、多果汁で、食味が優れる果実品質です（表１）。果皮色は、適熟果でも赤みが少ないのが特徴です（図１）。

また、農研機構の調査では、日持ち性が優れていることも確認されています。なお、「つきまる」は、供給体制が整い次第、苗木販売予定となっています。（園芸技術科・果樹研究チーム）

表１　「つきまる」の果実品質

品種	果実重 (g)	果皮色（C.C値）※			糖度 (%)	果肉硬度 (kg)	含核数
		果頂	赤道	果底			
つきまる	304.0	5.4	5.0	5.1	16.8	1.0	4.7
松本早生富有	227.5	4.9	5.0	5.2	16.6	1.7	3.8
富有	260.1	5.2	5.6	6.1	17.0	1.4	3.8

※C.C 値：カラーチャート値の略称で、果皮色を数値化した値。
数値が大きいほど赤みを帯びる。



図１　適熟果の「つきまる」

東京うこっけい卵の付加価値向上を目指して

鳥骨鶏（うこっけい）は古くから、卵や肉が健康によい食材として親しまれてきました。東京うこっけいは、年間 50～80 個程度だった産卵数を、1 羽当たり約 190 個まで高めた東京都の特産鶏です。農総研では、卵黄の着色や抗酸化作用の効果があるカロテノイドに注目し、東京うこっけい卵の付加価値向上を目指し、入手しやすく取扱いが容易であるパプリカ抽出物や乾燥唐辛子を飼料に加えて給与し、卵質や鶏体への影響を調査しました。その結果、卵黄の色が濃くなるだけでなく、卵黄中のカロテノイド含量も増加しました。さらに、鶏体の血液を調べたところ、HDL（善玉）コレステロール値の上昇と中性脂肪値の低下が認められました（図 1、表 1）。これらの結果から、カロテノイドの給与は、東京うこっけい卵の付加価値向上と鶏の健康維持に役立つことが期待されます。



図 1　カロテノイド添加給与による卵黄色の変化

（畜産技術科）

表 1　乾燥唐辛子添加給与による卵黄の色と総カロテノイド含量および血液性状への影響

	卵黄色 (1-16)	総カロテノイド含量 mg/卵黄100g中	HDLコレステロール mg/dL	中性脂肪 mg/dL
慣行飼料区	10.2	3.1	47.2	1374.9
乾燥唐辛子添加区[a)]	15.3	6.6	76.5	192.9

a) 乾燥唐辛子添加区は、飼料100g中に7.0mgのカロテノイドを含む。

令和８年度東京農林水産フェア開催

東京都農林水産振興財団では、都民の皆様に東京の農林水産業について、理解を深めていただくため、今年も「東京農林水産フェア」を開催します。

新鮮な農産物や加工品の販売、試験研究の紹介展示、体験コーナーなど楽しいイベントが盛りだくさんです。また、東京産食材を使用したキッチンカーも出店します。

東京の農林水産業の魅力を**来て！見て！体験！**してください。







開催日時　令和８年１０月２４日（土）１０:００～１５:００

（雨天決行　荒天の場合は中止の可能性あり）

（研究企画室）

育てます豊かな食とみどりの東京
公益財団法人 東京都農林水産振興財団 農林総合研究センター
〒190-0013 東京都立川市富士見町3-8-1
TEL：042-528-5216
https://www.tokyo-aff.or.jp/site/center/
X: @tokyo_tdfaff

こちらの QR コード
からご覧ください